

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
第1回ピッチイベントの開催
【プレゼンを希望する民間事業者の募集】

インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムでは、これまでに、キックオフフォーラムや自治体へのヒアリングを通じて、インフラメンテナンスにおける課題・問題点について意見収集を行ってきました。

今回、民間事業者などが保有する最新の技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを下記のとおり開催します。

つきましては、ピッチイベントで別紙1に示す3つのテーマ（課題）に対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間事業者を募集します。

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要となる諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

記

- ・名称 : (仮称) インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
第一回ピッチイベント 「ニーズの深掘り、シーズの種まき」
※イベント内容等の詳細は別紙2参照
- ・開催日時 : 平成31年1月24日(木)
13:30~17:00(12:30受付開始)
- ・開催場所 : 第五博多偕成ビル10F会議室
(〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-18-25、第五博多偕成ビル10階)
- ・その他 : ピッチイベントでは、1社あたり5分程度のプレゼンテーションを予定
- ・問い合わせ先 : インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム事務局
(一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部)
TEL : 092-434-4340
E-mail : qsinfo@jcca.or.jp

申 込 要 領

【プレゼンを希望する民間事業者参加の申込み】

1. 参加資格

シーズ技術を持つ民間事業者等*

※インフラメンテナンス国民会議の会員でない民間事業者等は、申込み合わせて会員登録をよろしくお願ひします。会員登録については、インフラメンテナンス国民会議 HP (<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.html>) をご参照下さい。

2. 申込み手続き

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：①参加申込書（別紙3）

②情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容（任意様式 A4×1 枚程度）

③実施事例がある場合、状況写真等（任意様式 A4×1～2 枚程度）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム事務局
（一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部）

アドレス：qsinfo@jcca.or.jp

3. 申込み期限

平成 30 年 12 月 14 日（金） 17：00 まで

4. 参加者の決定

事務局において申込み事業者の中から書類選考により決定（各テーマ数社）

5. 選考結果の通知

平成 30 年 12 月 21 日（金）（予定）までに申込み事業者の連絡先に通知

6. 参加の申込みに際しては、次項の留意事項をご確認下さい。

留 意 事 項

【知的財産権に関する主な留意事項】

- ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報は、その場に持ち込まないことを前提とします。
- 一方、議論する中でさまざまなアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許財産権が成立する可能性も否定できません。
- アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。
- また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。
- 参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

- 参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、事務局等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます。）することを許可することとし、また、著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

○テーマ 1

橋梁点検の効率化技術

【求める技術】

橋梁の近接目視点検を支援する技術、または点検者の移動を支援する技術で、以下のいずれかの条件を満たすもの。

【条件】

- 狭幅員橋梁等（人道橋等）でのクレーン車等が近づけない現場条件において、クレーン等を用いず簡易に足場を架設できる技術。
- ハイピアで河川等と交差し下からの点検が困難で、かつ橋梁上からのBT400等の点検車両からでも近接目視出来ない範囲の橋脚の点検技術。

○テーマ 2

道路管理の効率化技術

【求める技術】

舗装を含む道路空間の日常管理から補修までを効率的に管理できるシステムで、以下のいずれかの条件を満たすもの。

【条件】

- 道路パトロール等で画像を取得し、その画像から舗装を含む道路施設等の異状を目視レベルの精度で判別できるシステム。
- スマートフォンの活用等、一般車両に取り付け可能な簡易な測定機で比較的 low コストで導入可能なもの。
- パトロール結果や異状箇所のデータベース化が図れるもの。

○テーマ 3

橋梁補修の品質向上を図る材料

【求める技術】

小規模橋等の直営施工における橋梁補修の品質向上を図る材料で、以下の条件を満たすもの。

【条件】

- インフラ施設の管理者が直営で補修することを前提とし、補修の品質を確保できる養生材料、プライマー、補修全般の材料、工法など。
- 小規模橋の費用対効果に考慮したコストを抑えたもの。

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム 第1回ピッチイベント 『ニーズの深掘り、シーズの種まき』

「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」は、公共インフラの維持管理に関する自治体支援、技術開発推進に向けた情報交換やベストプラクティスの水平展開及び取組のマッチング等により、様々な課題の解決を目指し、昨年1月に立ち上げた、産・学・官・民からなる活動組織です。前回のキックフォーラムでは、九州におけるインフラメンテナンスの現状や課題等について、産・学・官・民の様々な立場から意見を頂きました。今回のフォーラムでは、皆様のご意見を踏まえ、自治体ニーズと民間シーズのマッチングによる課題解決に向けた取り組みを紹介します。

1. 開会の挨拶【13:30~13:35】

フォーラムリーダー大分工業高等専門学校校長日野伸一（九州大学名誉教授）

第一部-----

2. 国民会議九州フォーラムのこれからの取組【13:35~13:50】

「組織体制、活動方針、役割およびメリット、今後の課題を説明」

3. ピッチイベント

①ニーズの説明【13:50~14:35（15分×3[自治体]）】

「大分市、玉名市、長洲町より、直接ニーズを紹介」

②シーズの説明【14:35~15:20（5分×3[ニーズ]×3[シーズ]）】

「①で発表予定の3つのニーズに対し、それぞれ3つのシーズを紹介」

第二部-----

③グループ討議【15:35~16:45】

「テーマ毎にグループ分けを行い、ファシリテーター1名とメンター1名を配置」

テーマ1 橋梁点検の効率化技術

テーマ2 道路管理の効率化技術

テーマ3 橋梁補修の品質向上を図る材料

テーマ4 インフラ施設管理に関する課題点、問題点の具体化、共有化

④各テーマの総括【16:45~17:05（5分×4[テーマ]）】

4. 閉会の挨拶【17:05~17:10】

【インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム シーズ調査票】

Q1.自治体会員が抱える課題（別紙ニーズ一覧参照）に対して、提案可能な技術等を教えてください。
 （提案する技術等が複数の場合は、適宜シートを増やしていただいて構いません。）

<討議テーマ>

- ①橋梁の近接目視点検を支援する技術
- ②舗装を含む道路空間の日常管理から補修までを効率的に管理できるシステム
- ③小規模橋等の直営施工における橋梁補修の品質向上を図る材料

テーマ番号	技術概要
	記載例) ○○において、○○を効率的に行う技術（○○工法）

※提案する技術の概要を記載願います。

概要説明

※提案する技術について、簡単に記載願います。図や表を用いても構いません。
 パンフレットの写し（PDF）、HPの紹介などの添付でも構いません。

Q2.記入された方の連絡先等を記載して下さい。

所属	役職	氏名	連絡先	
			電話番号	Eメールアドレス